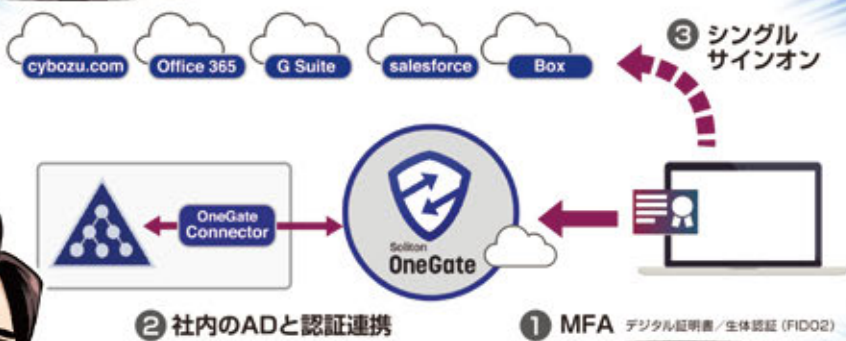


数週間後
社内講習——

この度
新たに **Soliton OneGate** を
導入することになりました

Soliton OneGate は
次世代認証サービスです



多要素で
パスワードレス本人認証を
可能にするので
顔認証を使ってログインする
こともできます!!

それって
つまり…?

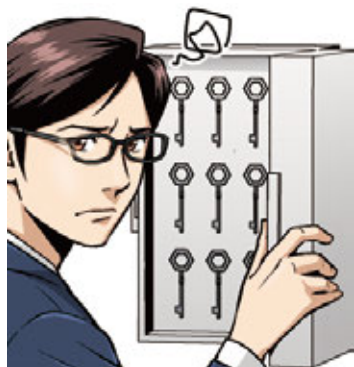
これまでのような
めんどろなパスワード管理が
不要になります!

お
お
お

クラウド化で増える一方のID・パスワード



システム運用負担の軽減や、働き方改革、さらには BCP（事業継続計画）対策等に向けて、さまざまな IT システムやアプリケーションをクラウド化する「クラウドシフト」が進んで



います。それに伴いシステム担当者を悩ませているのが、利用者のアカウント情報の管理。

セキュリティリスクを考えると、利用者には簡単なパスワード登録を禁止し、複雑な文字列のパスワードをいくつも管理してもらう必要があります。また、クラウドサービスはユーザー単位での課金体系が一般的なので、人員の増減や組織変更・異動などに対して、オンプレミスシステム以上にきめ細かい管理が必要です。

さらにこの問題に輪をかけるのが、多くの企業でクラウドとオンプレミスのシステムが混在しているということです。システム担当者は社内システムとクラウドサービスの両方のアカウント管理作業が必要となり、運用負担は増加します。多大な運用負担は、退職者 ID の削除漏れといったセキュリティリスクにもつながり兼ねないため注意が必要です。

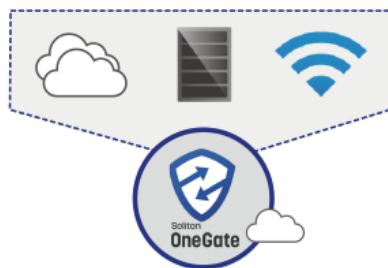
求められるクラウドと社内の認証統合



そこでソリトンシステムズが提案するのが次世代認証サービス「Soliton OneGate」(以下、OneGate) です。

OneGate は社内システムとクラウドサービスの ID と認証情報をまとめて管理し、ネットワーク認証からアプリケーション利用までのシングルサインオン環境を提供します。

これにより、管理者のアカウント管理業務負担を大幅に削減しつつ、ユーザーの利便性も高めることができます。



Soliton OneGateが実現する「ふたつのパスワードレス」



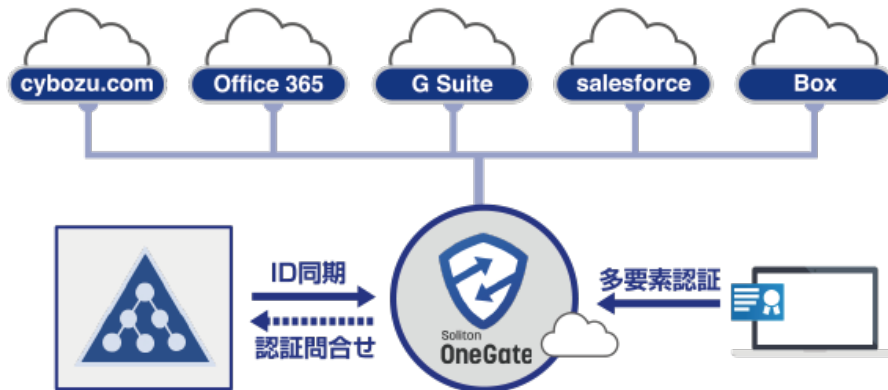
Soliton OneGate はクラウドのパスワードレス化、そして利用者ログインのパスワードレス化を実現します。

クラウドに対して、Soliton OneGate が社内の ActiveDirectory からユーザー情報を取得し、個々のクラウドサービスに ID 情報を自動で登録。ID フェデレーションサービスによるシングルサインオンを実現します。

クラウドにログインする際は、OneGate へデジタル証明書とドメインパスワードや FIDO 2 による多要素認証を行うと、あとは OneGate が社内の ActiveDirectory と認証連携を行い、

利用者はシングルサインオンが可能となります。OneGate を含めクラウド側には一切パスワードを保持しておらず、パスワードリスト攻撃等による不正アクセスを確実に防止します。

また、OneGate は多要素認証で利用するデジタル証明書の安全・簡単運用にも対応しています。利用者は AD アカウントを利用して、インターネット経由で安全にデジタル証明書を取得することができます。このデジタル証明書を利用して、社内の Wi-Fi や VPN などネットワーク認証強化を行うことも可能です。

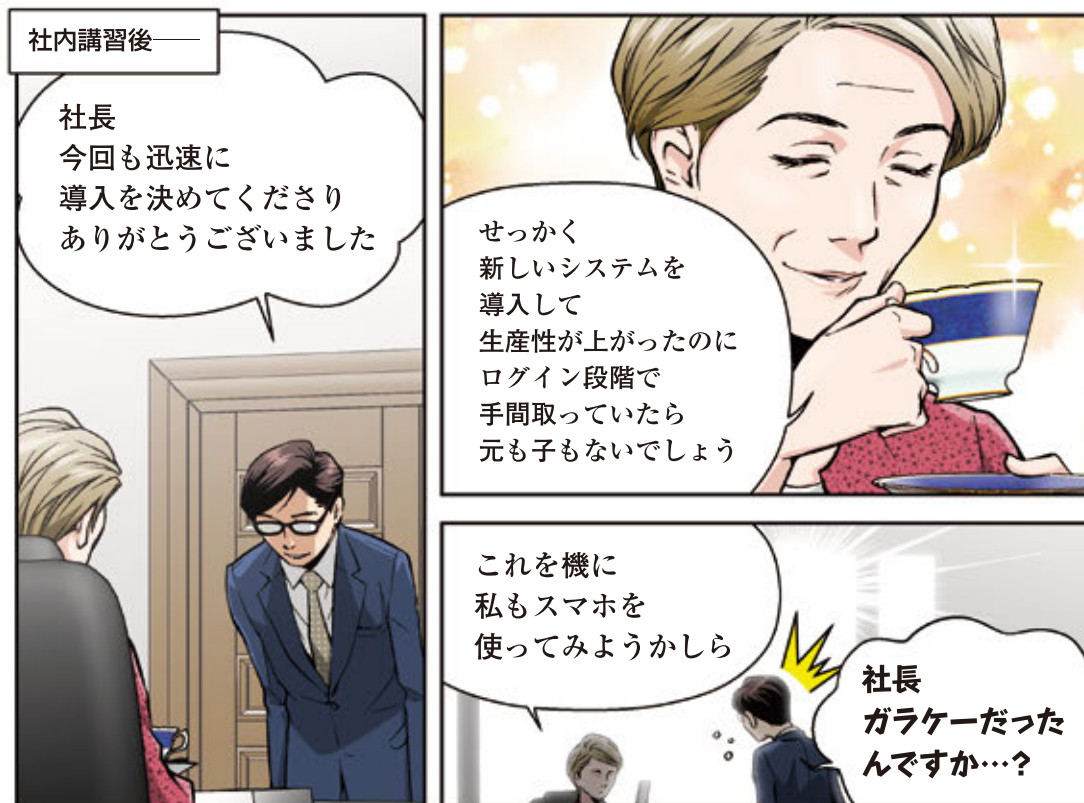


新たな認証サービスで、生産性の向上を



クラウドサービス毎に認証設定を見直したり、利用可能なアカウント情報をメンテナンスしては管理者も利用者も運用負荷が増加し、セキュリティの確保が生産性の足かせとなってしまいます。

セキュリティを向上させつつ、利便性の向上と運用負荷の削減を実現する OneGate。アカウント管理の増加で悩む管理者の方、導入を検討してみてもはいかがでしょうか。



お問合せ先

社名：株式会社ソリトンシステムズ
 部署：IT セキュリティ事業部
 URL：https://www.soliton.co.jp/
 Mail：netsales@soliton.co.jp

関連製品

Soliton OneGate
<https://www.soliton.co.jp/lp/one-gate/>